



税の役割と大切さ

大田区立志茂田中学校 三年 今泉 心

税金は国や私たちの生活にとってかけがえのないものだと思います。

私たちが生活している地域の信号機や横断歩道の白線、街灯などは日本に住んでいる人々の税金から作られています。道路設備以外にも警察署や消防署、病院や公園という様々な建物も日本に住んでいる人々が納めている税金から作られていてその設備のおかげで私たちは安全に生活できているのです。

そして私は小さい頃から体が弱いのでよく風邪をひき保育園や学校も休みがちでした。保育園や学校を休むたびに母に病院に連れて行ってもらって薬をもらって治療をしていましたが産まれてから中学生までは医療費が全て無料と母から聞きました。医療費が無料になるのは医療の自治体から治療費がおりるそうですが元は税金が財源となっているそうです。

まだ私たちの記憶に新しい話題といえは石川県北部にある能登半島地震です。

その時に出勤した自衛隊や医療、復興に向けての仮設住宅なども納めた税金から支払われています。例えばそのような震災などで職を失った

方達や病気や怪我で働けなくなった方達、その他にも色々な理由で収入のない、もしくは収入が少ない人たちが最低限の生活を保障する制度として生活保護という制度があります。

これは私たちにとっても無関係な事でなく災害に巻き込まれたりした時に今まで当たり前のようであった収入源がなくなってしまう時にも衣食住を守ってもらうなど相談をする事も可能な心強い制度です。

それからもう一つ今話題の備蓄米です。

備蓄米とは日本で災害などが起きた時にお米不足で食事に困る場合に国が保障してくれるお米です。このお米も元は日本で作られたお米を国が税金で買い上げたお米です。今のような米不足でお店に行ってもお米が売り切れ状態で例えばお米があったとしても今までの倍くらいの値段で初めて見るメーカーのお米になっています。そしていつものような値段で買う事ができなくなっています。そのため国が備蓄米としてとっておいたお米をスーパーなどに置くようになりました。そうすると今本当の災害が起きた時、備蓄米が無くなっているのではないかと心配も少しあります。国が税金で買い上げた備蓄米のおかげで私たちは毎日ご飯を食べる事ができています。

こうして私たちの生活の中で教育や、医療、生活の安全が税金によって守られている事に気がつきました。私も社会人になった時に自分の為にもきちんと納税をしていきたいと思っています。